

本通り将来像検討会 第4回

2025年8月6日(水)19時～ @箱崎会館

■スケジュール（予定）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	予備	自治連 自治協 提案	市へ 提案
内容	現状把握 意見交換	将来像検討	将来像の パターン比較	意見集約				
開催日	5月14日	6月11日	7月16日	8月6日	9月17日	10月頃	10月頃	年度内
場所	箱崎会館	箱崎公民館	箱崎会館	箱崎会館	箱崎会館			

※10月頃に検討状況報告や意見募集のためのまちづくり新聞を発行する予定です。

1. 前回意見のまとめ等【資料1】 ※説明10分程度

①広い・狭いのメリット・デメリットの集計結果（資料1から抜粋）

狭いメリット	箱崎らしさ・伝統が残る、賑わい・お店が維持、交流しやすい、歴史的建物が残る
狭いデメリット	歩車分離ができない／危ない、車が通りにくい
広いメリット	歩行者の安全向上・バリアフリー、車が通りやすい など
広いデメリット	箱崎らしさが無くなる、賑わい・お店が無くなる、交流が減る、歴史的建物無くなる

②まとめと第4回の進め方（資料1から抜粋）

- ①『ふれあい』、『活気あふれる』、『歴史と伝統』の視点では、
狭いの方がメリットが多く、広いの方はアイデアの提案が少ない。
 - ②『安全・安心』は広いが評価され、車のスピード増加は広い・狭いの両方で心配されているが、
狭いの『安全・安心』は、様々な解決策のアイデア提案がある。
- 意見をふまえると、箱崎の将来像に関するメリットが多い「狭い」が望ましいと考えられます

第4回 進め方	①『狭い』を軸に、将来イメージ（たたき台）を整理 ②将来イメージ（たたき台）の意見交換を行う ※「広い（18m道路）」も含め議論
------------	---

2. 将来像イメージ（たたき台）【資料2】 ※説明10分程度

3. 意見交換 ※40分程度

- ・本日は、全体での意見交換を行います。
- ・将来像イメージ（たたき台）について、ご意見をお願いします。
- ・ご意見をふまえて、今後の進め方を考えます。

第3回本通り検討会 メリット・デメリットの意見まとめ

資料1

○メリット ▲デメリット 赤字：将来像関連 黄マーカー：安全・安心 ★：アイデア

	狭い		広い	
メリット	○箱崎らしさや伝統が残る【歴史と伝統】	7	○歩行者の安全向上・バリアフリー	8
	○賑わい／お店が維持される【活気あふれる】	5	○事故が減る	1
	○住民の交流がしやすい【ふれあい】	4	○車が通りやすい	9
	○歴史的建物・街並みが維持【歴史と伝統】	2	○無電柱化しやすい	5
	○横断しやすい【ふれあい】	2	○街並みが整う	1
	○跡地から筥崎宮までの雰囲気が良い【歴史と伝統】	1	○歩道が広く活用できる	1
	○事故が少ない	2	○お店が増える	1
	○交通量・速度を抑制できる	2	○マンションが増え、人口も増える	1
	○事業着手が早い	2		
デメリット	▲歩車分離できない／危ない	5	▲箱崎らしさや伝統が無くなる【歴史と伝統】	10
	▲車の速度増加	1	▲賑わい／お店が無くなる【活気あふれる】	6
	▲自転車が危険	1	▲住民の交流が減る【ふれあい】	5
	▲車が通りにくい	4	▲歴史的建物・街並みが無くなる【歴史と伝統】	4
	▲無電柱化しにくい	2	▲横断しにくい【ふれあい】	6
	▲街並みの発展が制限される	1	▲車の交通量増加／速度増加	6
	▲壁面がそろわない	1	▲横断事故が増える	3
	▲建替えを我慢している人もいる	1	▲事業期間が長い	3
			▲交差点の渋滞	1
			▲人口減少する	1
アイデア	★速度規制	2	★景観向上のお願い(ルール)が必要	1
	★一方通行化	1		
	★交通量を抑制する進入規制	1		
	★伝統行事の安全対策と速度抑制対策の両立の検討	1		
	★自転車交通マナーの向上	1		
	★景観向上のお願い(ルール)	1		
発表意見	・ 広いはメリットが思い浮かばなかった、狭いはメリットが多く出された。 ・ 広いはデメリットが多く出て、狭いはメリットが多く出た。 ・ 狭いデメリットを解消するために、広いメリットがある。狭いデメリットを対策すればよいと思う。			

第3回のまとめ

①『ふれあい』、『活気あふれる』、『歴史と伝統』の視点では、 狭いの方がメリットが多く、広いの方はアイデアの提案が少ない。
②『安全・安心』は広いが評価され、車のスピード増加は広い・狭いの両方で心配されているが、 狭いの『安全・安心』は、様々な解決策のアイデア提案がある。
意見をふまえると、箱崎の将来像に関するメリットが多い「狭い」が望ましいと考えられます

第4回 進め方	①「狭い」を軸に、将来イメージ（たたき台）を整理 ② 将来イメージ（たたき台）の意見交換を行う ※「広い（18m道路）」も含め議論
------------	---

第3回 本通り検討会 メリット・デメリットの意見 全文まとめ

Aグループ

○:メリット・デメリットに関する意見 ★:課題解決のための提案

	広い	狭い
メリット	○歩行者の安全 ○整った街並になる ○無電柱化がしやすい ○九大跡地への抜け道になる	○箱崎らしさ(歴史・雑然とした雰囲気)が残る ○祭りのにぎわいが維持できる ○九大跡地の新しいまちから、筥崎宮へのタイムトンネルみたいなものになる
デメリット	○箱崎らしさがなくなる(歴史・雑然とした感じ) ○祭りのにぎわいが難しい(道一杯の(玉せせり・御神幸)にならない) ○車が多くなる ○スピードが上がる ○高齢者が渡りにくくなる	○自転車の共存が難しくなる(スピードが上がる、並列通行) ★外国人・日本人の交通ルール教育が必要 ★御神幸のみこしを通る際の工夫が必要(ハンプ、狭さくに工夫が必要)

Bグループ

○:メリット・デメリットに関する意見 ★:課題解決のための提案

	広い	狭い
メリット	○安全性?(安全になるか疑問あり) ○車道と歩道の区分 ○車のスピードアップ→危険大	○街並が保存できる→歴史的景観の維持 ★ゾーン 20 で車速制限(安全性確保) ○通行量の減少→箱崎 ★本通りを速度制限 15 km ○横断しやすい ○事業着手が早い ○ストリートデザインが簡単 ○一時停止の連続
デメリット	○伝統行事が難しい(玉せせり) ○町内が分断される ○歩行者の横断が難しい →短絡すると事故が不安 ○渋滞ができる交差点 ○実行のおくれ ○本通のイメージがこわれる ○香椎の再開発の例→賑わいがなくなっている	○街並の発展が制限される

Cグループ

○:メリット・デメリットに関する意見

★:課題解決のための提案

	広い	狭い
メリット	○車の通りがよい ○離合できる ○歩道が十分とれる ○一方通行によるまわり道がなくなる ○緊急車両が入りやすい ○歩道に休憩スペースなどとれる ○歩行者と車の分離ができて安全 ○無電柱化も現実的になる	○お店のこる ○横断しやすい ○立ち退きの心配ない ○歴史建物のこる ○お祭りの盛況感がある ○車のスピードおさえられる ○歩行者も車も気をつけて通っている
デメリット	○お店がなくなる ○交通量が増えて、横断がしづらくなる ○信号のないところで横断する人がいるかも ○立ち退きが増える、人口減少する？ ○歴史的建物がなくなる ○お祭りの見目がわるくなる？(玉せせり、御神幸) ○お宮の前も渡りにくくなる	○歩車分離できない、危ない ○一方通行の場合はまわり道 ○歩行者の安全担保できない ○無電柱化難しい

Dグループ

○:メリット・デメリットに関する意見

★:課題解決のための提案

	広い	狭い
メリット	○歩道で安全確保 ○確実な無電柱化 ○車の円滑な走行	○人との交流が取りやすい ○小規模店舗を守ることになる ○歴史・伝統を感じやすい(ex. 玉せせり、人形飾り)⇒箱崎らしさが残る ★一方通行化による車の交通量削減 ○石畳にすると、車のスピード減+交通量減 ○実現に向けた期間が短い
デメリット	○壁面がガタガタになる(★都市景観として願う) ○他の道路と同じようになるため、特徴がなくなるのではないかな？⇒歴史・伝統を感じにくくなるのではないかな？ ○いつ実現するか分からない ○人の交流がとりにくくなる ○人が道路を渡れない ○車が増加する(交通量) ○大型マンションが建設される(街並が崩れる) ○人の寄り付きが悪くなる ○小規模店舗がなくなる ○駐車場の不足 ○箱崎らしさがなくなり寂しい	○壁面がガタガタになる(★都市景観として願う) ○歩行者の安全(★要対策) ○電柱の地中化が困難 ○長年建て替え、セットバック等で我慢している人がある ○押し車をしている老人や赤ちゃんが危ない

Eグループ

○:メリット・デメリットに関する意見 ★:課題解決のための提案

	広い	狭い
メリット	○歩行者安全(歩道の確保) ○車が通りやすい ○車の運転者の視界が広がる ○無電柱化の可能性が高まる ○お店が増える ○バリアフリーが実現する	○声掛けあいやすい ○気を使ってあげやすい ○車がスピード出しにくい ○玉せせりの迫力の維持 ○御神幸の迫力の維持 ○意外と事故が少ない
デメリット	○車のスピードが出る ○工事期間が長くなる ○地域コミュニティの距離感の維持が難しい ○歩行者横断事故が増える ○フェンスが無いところへの無断駐車が増える ○玉せせりの迫力が欠ける	○車が通りづらい、駐車しにくい ○歩行者(特に高齢者、子ども)歩きにくい ○電柱がじゃま ○消防車、救急車が通りづらい

Fグループ

○:メリット・デメリットに関する意見 ★:課題解決のための提案

	広い	狭い
メリット	○歩道が広くなる ○安全(通行人) ○車の抜け道として利用しやすくなる ○今よりスピードが出せる ○出会い頭の事故は減る(リスクが減る) ○無電柱化の実現ができる(景観が良くなる) ○マンションが増えて、ファミリータイプの場合、人が多くなる	○お互いの顔が見える ○箱崎らしさが残せる ○防犯上のメリットが有る(声をかけやすい) ○商店街の店舗利用が増える ○まちが活性化する
デメリット	○渡りにくくなる ○対面の人との対応が無くなる(にぎわい・ふれあい) ○道路を渡って来なくなるのでは? ○広い道にかこまれて孤立しそう ○箱崎らしが無くなる ○下町っぽさは無くなる ○個々になる→マンションが増えて人が多くなる(ワンルームの場合) ○古い建物が壊される	○車が通りにくい(事故リスクが上がる) ○一方通行だと、スピードが上がる。 ★車の流れを変えるのはどうだろう ★車の問題が解決すれば狭くてOK ★本通り「さいきょう」の交差点を北側から侵入できないようにすれば抜け道利用する人は減る

第3回 本通り検討会 発表意見まとめ

Aグループ

広い×メリット

- ・妙見通りはあるが、道路が広くなれば九大跡地からの抜け道として使われるようになる。

広い×デメリット

- ・高齢者が道路を横断しにくくなる。(箱崎は高齢者が多い)

狭い×メリット

- ・新しい街である九大跡地、1100年の歴史がある筥崎宮、本通りはその2つをつなぐタイムトンネルのような通りになれば面白い。

狭い×デメリット

- ・車がいなくなったら、自転車がスピードを出したり、並列通行したりするかもしれない。自転車との共存が問題になる可能性がある。

Bグループ

広い×メリット

- ・メリットとして安全性が最初に出たが、車道と歩道を区分することが本当に安全なのかという話が出て、少し行き詰った。
- ・車のスピードアップにしても乗る人からしたら良いかもしれないが、歩行者の安全確保ができなくなるのではないかという話も出た。
- ・無電柱化にしても、道路が広いのであれば無電柱化しなくてもいいのではという話もでた。
- ・正直なところ、メリットがあまり思い浮かばなかった。

広い×デメリット

- ・伝統行事が難しくなる。例えば、九大病院前のような道路で玉せせりをするのがピンとこない。
- ・町内が分断されるかもしれない。旧町内は通りの向こうまでが1つの町内になっており、広い道路ができると分断されそう。
- ・歩行者の横断が難しい。高齢者が遠くの横断歩道に行くのは体力的にも大変。そのため、横断歩道のないところをついつい渡ってしまうと思う。逆に危ないかもしれない。
- ・広くなったら車の通行量が増えて、逆に渋滞が発生するかもしれない。
- ・実現までの時間が長くなる。
- ・本通りのイメージが壊れる。普通の道路になったら普通の街並みになってしまい、箱崎らしさがなくなってしまう。
- ・香椎のように、再開発で賑わいがなくなってしまうかもしれない。

狭い×メリット

- ・狭い方はメリットが多く出された。
- ・歴史的景観の維持など街並みが保存できる。
- ・玉せせりなどが道の真ん中でできるのが良い。
- ・希望になるが、箱崎全体をゾーン20にして速度制限を設け、通行量を減らせないか。
- ・本通りを15キロ制限にして速度制限をすれば、道路が狭くても安全性は保てるし、車を通りにく

くすれば通行量も減るのではないか。

- ・道路の横断がしやすい。
- ・ストリートデザインがある程度容易にできる。道が狭い方が一体感があると思うので、石畳も含めてデザインしやすいだろう。

狭い×デメリット

- ・街の発展が制限されるかもしれない。商業以外の発展があまり望めないかもしれないが、それはそれでいいかもしれない。

Cグループ

広い×メリット

- ・車が通りやすくなる。離合できる。
- ・歩道が十分にとれる。歩行者と車の分離ができて安全。
- ・一方通行による回り道がなくなる。
- ・緊急車両が入りやすくなる。
- ・歩道に休憩スペースがとれる。
- ・無電柱化が現実的。

広い×デメリット

- ・お店が立ち退きでなくなってしまう。
- ・立ち退きが増えると人口が減少するかもしれない。
- ・交通量が増えて横断しにくくなる。信号のないところで横断する人がいるかもしれない。
- ・旧箱嶋邸など歴史的な建築物がなくなってしまう。
- ・玉せせりなどのお祭りの見た目が悪くなってしまう。
- ・お宮の前のあたりの道路が渡りにくくなりそう。

狭い×メリット

- ・立ち退きがないのでお店が残る。歴史的な建物が残る。
- ・道路を横断しやすい。
- ・お祭りの盛況感がある。
- ・車のスピードが抑えられる。
- ・歩行者と車がお互いに気をつけるので、意外と安全かもしれない。

狭い×デメリット

- ・歩車分離ができないので危ない。歩行者の安全担保ができない。
- ・一方通行の場合はまわり道をしないとイケない。
- ・無電柱化が難しい。

Dグループ

- ・「広い」はデメリットが多く出て、「狭い」はメリットが多く出た。

広い×メリット

- ・歩道が広い。
- ・無電柱化をしやすい。
- ・車が円滑に走行できる。

広い×デメリット

- ・事業の完成がいつになるか分からない。
- ・歴史や伝統が感じにくくなる。
- ・人が行き来しにくくなるので、交流がとりにくくなる。
- ・広くなればその分、車が増えるのではないかな。
- ・大型のマンションが一層建築されて、街並みが変わっていくのではないかな。箱崎らしさがなくなるのではないかな。

狭い×メリット

- ・人との交流がとりやすい。
- ・小規模の店舗を守ることができる。
- ・たませせりや人形飾りをしているが、箱崎らしさを残すことができる。
- ・石畳にすれば車のスピードが落ちるし、交通量も減るだろう。
- ・実現に向けた期間が短い。

狭い×デメリット

- ・電柱の地中化が難しい。(民地の協力が必要)
- ・長年、セットバックの関係で建替えを我慢している人もいようで、その人たちには悪く思う。

Eグループ

広い×メリット

- ・歩行者の安全を確保できる。
- ・車が通りやすくなる。道路幅が広いと視界も広がって、より運転しやすくなる。
- ・無電柱化の可能性が高い。
- ・新しいお店が増える可能性がある。
- ・歩道のバリアフリー化ができる。

広い×デメリット

- ・車が通りやすくなると、スピードも出やすくなる。
- ・工事期間が非常に長くなる。
- ・道幅が広い分、向かい側の人との距離感が出てくる。地域コミュニティに距離感が出てくる。
- ・狭い道路であればすぐに反対側に行けるが、道路幅が広いと高齢者などは横断歩道がないところをわたってしまって、交通事故が増える危険性がある。
- ・九大病院付近の通りには歩道にフェンスが立っているが、お店の場合は歩道に無断駐車が増えるかもしれない。
- ・たませせりの迫力が欠けるかもしれない。

狭い×メリット

- ・声をかけ合いやすい。
- ・車がスピードを出しにくい。
- ・たませせりなどの伝統行事の迫力が維持できる。
- ・現在の本通りは意外と事故が少ないという話が出た。

狭い×デメリット

- ・車が通りにくい。

- ・事業者が車を停めにくい。
- ・歩行者が歩きにくい。
- ・電柱が邪魔になる。
- ・消防車や救急車など、緊急車両が通りにくい。

Fグループ

広い×メリット・デメリット

- ・ファミリータイプのマンションが増えたら人口が増える。ただ、デメリットとして、ワンルームばかりになると人と人のつながりが希薄になってしまうので、マンションでもタイプによって違ってくる。

狭い×メリット

- ・人と人が近くてやり取りも増えるので、防犯上はよさそう。
- ・狭いところのデメリットを解消するために、広いところのメリットがあるようになっている。その原因は車であり、車が通るので人とぶつかるかがあるの、「狭い」のデメリットを対策すればよいのではという話になった。さいきょう自転車さんの交差点について、九大跡地方面から直進して進入できなくなるよう、道路にポールを立てたらどうか。通り抜けができなくなるので、妙見通りを通る車が増え、一方通行をしなくても良いと思う。ポールを立てて通り抜けができなくなっても、住んでいる人もそこまで不便ではないと思う。狭いままで車の通行量を減らすことを考えたかどうか。

■交通計画課からの前回の補足説明

- ・都市計画を廃止する場合は、箱崎キャンパス跡地の開発計画を踏まえ、周辺の道路交通に大きな影響がないこと、一方通行などにより歩行空間が確保されること、について確認することが必要となる。
- ・現道での無電柱化にあたっては、地上機器を沿線の民地内に設置する必要があるため、沿線住民の方々の協力が不可欠。

（１）将来像のキャッチフレーズ

人がふれあい 活気あふれる 歴史と伝統を感じられる本通り

※箱崎まちづくり計画（平成31年3月策定）の将来像をふまえて作成しています。

（２）分野別の将来像イメージ

本通りの将来像を意見交換（第1回）し、以下のような将来像イメージを共有しました。

ふれあい	こども・高齢者など、地域の人が気軽にあいさつでき、ご近所さんの顔が見える、交流が盛んな本通り。
活気あふれる	個性的なお店が増えることで通りの魅力が高まり、たくさんの人が行き交う、活気とにぎわいがあふれる本通り。
歴史と伝統	筥崎宮や唐津街道を中心に発展した箱崎の歴史と伝統が継承され、歴史・伝統と調和した風情ある景観が魅力的な本通り。
安全・安心	こどもから高齢者まで、誰もが安全に歩き回ることができる本通り。

本通りの空間イメージを意見交換（第3回）した結果、上記の将来像を実現するためには、**現在の通りやまちなみを維持するのがふさわしい（メリットが多い）**と考えられます。ただし、「**歩行者の安全性の向上**」が課題であり、対策の検討が必要です。

なお、**道路を拡幅**する場合は、**歴史・伝統やコミュニティが失われる懸念**が多く寄せられました。

メモ：「道路を拡幅（幅員18m）」を採用する場合は、歴史・伝統やコミュニティが失われることについて、課題解決のアイデアが求められます。

（３）本通りの課題解決のアイデア

本通りの空間イメージを意見交換する中で、現状の道路幅員で「**歩行者の安全性の向上**」を実現するためのアイデアとして、以下のような対策を考えました（第3回）。

課題解決のアイデア	歩行空間	①一方通行	・進入する車両の数を制限するとともに、歩行空間を確保するため一方通行とする。
	安全対策 速度抑制	②ハンプ	・車のスピード抑制のため、凸状のゆるい段差を設置する。 ・沿線の土地利用や伝統行事の実施状況、歩きやすさを考慮して、設置方法を検討する。
		③狭さく	・ポールによる物理的狭さくや、路面標示による視覚的狭さくなど、沿線の土地利用や伝統行事の実施状況を考慮して検討する。※一方通行の場合の効果は限定的
		④速度規制	・自動車のさらなる速度規制を検討する。
	交通量抑制	⑤進入規制	・物理的な進入規制により、幹線道路から本通りへの流入を抑制するための対策を検討する。

(4) 本通りの空間イメージ

これまでの意見交換(第1回～第3回)を通じて、本通りの空間イメージを次のように整理します。

- ① 現在の通りやまちなみが維持されており、1000年を超える歴史と玉せせりなどの伝統文化を継承した、ふれあいと活気に満ちた通りとなっています。
- ② 道路の美装化や無電柱化、景観に配慮した照明灯が整備され、歴史的景観と調和した風情ある通りとなっています。
- ③ 歩行空間の確保や車の速度抑制などにより、歩行者が安全・安心に行き来できる環境が整っています。
- ④ 歩行者の安全性を向上することで、地域の回遊性が高まり、人の往来と店舗の賑わいがあふれる通りとなっています。



現状の本通り



道路の美装化の事例（櫛田神社参道）

※市による道路整備だけでなく、特定まちづくりルール（箱崎まちづくり計画）の運用による街並みづくりや商店街の活性化、一方通行化や無電柱化への協力など、地域主体の取り組みも必要です。

別案：都市計画道路（幅員18m）による歩車分離が実現し、歩行者の安全が確保されています。

メモ 「道路を拡幅（幅員18m）」を採用する場合は、空間イメージの修正が必要です。